

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和4年度 第6号

「協働」

校長 小早川 靖樹

文化総合発表会中は気温もあまり上がらず、一気に秋らしい気候になりました。体育館での発表も、気持ちよく鑑賞することができたのではないのでしょうか。今年度も学年ごとの開催となりましたが、それぞれ取り組みの成果が発揮できた素晴らしい発表になったと思います。

1年生が合唱コンクールを取り組み始めたころは、あまり声が出ていなかったように思いました。思えば新型コロナウイルス感染拡大防止対策により約2年半、音楽の時間も合唱はかなり制約を受け、以前のようにマスクを外して大きな口を開けて、全員が思いっきり声を出して歌うことができていませんでした。そんな中、2年間合唱コンクールが開催されていないブランクを感じさせないほどの歌声が体育館に響きました。クラス全員が力を合わせた合唱は、1年生らしい元気いっぱいの発表だったと思います。

2年生は「地域貢献・地域活性化」をテーマに、「映えスポット」、「防災」「交通」、「健康」、「環境」「食」、「マスコミ・観光」のグループに分かれ、発表に向けて取り組んできました。地域のスーパーや吹田市役所、山田第五小学校、南山田小学校の協力を仰いで活動しているグループや、学校周辺の取材に出かけるグループもありました。発表方法も展示やプレゼンテーションだけでなく、ダンス、動画など工夫を凝らした発表も多くあり、楽しく鑑賞することができました。特に写真や動画のスキルは素晴らしく、山中生のICT活用スキルの高さに驚きを隠せませんでした。

3年生はクラス劇に取り組みました。取り組み期間の様子を見ていたら、とてもゆっくりしていたので、内心「文総に間に合うのだろうか・・・。」と心配していましたが、当日の発表は各クラスが演出を凝らした素晴らしい劇だったと思います。面白い場面では笑い、劇の終わりには温かい拍手をするなど、鑑賞態度もよかったと思います。

今回の文化総合発表会の取り組みでは、クラスやグループの一人ひとりが、目標に向かって自分の役割を果たしたことが、感動的な合唱、アイデアあふれる発表、素晴らしい劇という結果につながったと思います。同じ目的のために力を合わせて働くことを「協働」といいますが、今回の文化総合発表会では、目標にむけて、みんなが力を合わせ一つのものを創りあげる、まさに「協働」ができていたと思います。今回の文化総合発表会で学んだこの「協働する」という力をこれからもいろいろな場面で活かしてほしいと思います。

☆文化総合発表会

9月20～22日に学年別で実施しました。

1年生はクラス合唱、2年生は地域貢献をテーマとした、様々な手法を用いた説明・紹介、3年生はクラス劇に取り組みました。また、22日にはダンス部と吹奏楽部の舞台発表、文芸部・家庭科部・支援学級の展示発表も行いました。



【1年生】クラス合唱



それぞれのクラスで一生懸命がんばりました！どのクラスも感動する合唱でした。クラスで1つになることの難しさをこの合唱を通して学び、これからの皆さんに期待です！！

【張り出し舞台設置の様子】



〔3年生〕 クラス劇



各クラス、一から自分たちで最高の劇を完成させました。各係で試行錯誤を繰り返し、主体的にアイデアを出し合っていました。劇終了後の「楽しかった!」という言葉が印象的でした。これからは、気持ちを切り替えて、進路に向けて頑張っていきましょう!

〔2年生〕 地域貢献をテーマとした説明・紹介



劇の台本、ダンスの振り付け、CMの編集、プレゼンテーションの作製、制作物、すべてがオリジナル! あなたたちだけの特別な発表になりました。ゼロから築き上げる苦労、そして得た達成感はあるあなたの力になっています。よく頑張りました。

☆デートDV 予防啓発授業

9月29日に講師をお招きして、3年生がデートDV

予防啓発授業を受けました。人それぞれの受け止め方に違いがあることを理解したり、相手を尊重する気持ちをもつことをとおして、加害者にも被害者にもならない人間関係づくりを構築することの大切さを学ぶことができました。



★校舎改造工事の様子

完成に向け、休日を中心に進めていただいています

